

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 29 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2023 年 7 月 21 日 (金) 16 時～17 時

(2) 会場

広島オフィスセンター 第 10 会議室

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	小笠原勝司
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

(4) 議題

① 運営委員の変更について

② 中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた地域の支援団体育成・強化事業(休眠 2022)

実行団体の決定について

③ コンソによる休眠預金事業の今後について

④ その他

(5) 記録

① 運営委員の変更について

- ✓ ふるさと島根定住財団より、運営委員変更についての申請があり、承認された。
細田浩之氏 → 小笠原勝司氏

② 休眠 2022 実行団体の決定について

- ✓ 2023年7月21日(金)11時～15時に開催された審査委員会において、実行団体の推薦があり、推薦の通り下記の団体を実行団体として決定した

【休眠 2022 実行団体】

鳥取県

とっとり震災支援連絡協議会
人と動物の共生センター

島根県

島根県社会福祉協議会
石西防災研究所

岡山県

ほっと岡山

広島県

ひろしま防災減災支援協会

山口県

レベルフリー

- ✓ なお、想定した助成上限額まで達しなかったことから、広島と岡山（どちらか一方も含め）において再度の公募を検討することとした

③ コンソによる休眠預金事業の今後について

- ✓ 5県の枠組みが評価され、資金分配団体として採択いただいている
- ✓ 今後も中国5県の枠組みを継続していきたい
- ✓ 一方で、公益財団であるとっとり県民活動活性化センターとふるさと島根定住財団については、予算組されている本来事業に加えて休眠事業を行っている実態がある
- ✓ 人材の面などでフォローや配慮なしには負担が非常に大きい
- ✓ 退職したベテラン PO に業務委託でフォローしてもらっていたが、JANPIA との協議から継続が難しい
- ✓ 例えば、5県5団体にこだわらず、1件2団体で役割分担するなどして、現在の枠組みを発展させる

といったことも検討してよいのではないか

- ✓ 2023年度の下半期にかけては、職員退職に伴う処置として引き続き業務委託でのフォローが可能だが、今後に向けて体制など再度検討していくこととした

④ その他



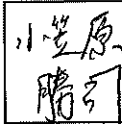

- ✓ 島根県及び山口県で発生した水害について、発災枠の発動について議論した
- ✓ 現状、市町村域の社協で対応ができており、おおよその対応が完了していることから、中国地方での発災枠発動は見送ることとした
- ✓ 東北（秋田）の被災規模が大きいことから、引き続き情報収集を行い、必要に応じて発災枠の発動を検討することとした

以上で議事のすべてを終了し、19:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2023 年 7 月 24 日

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	小笠原勝司	
運営委員	石原達也	
運営委員	伊藤彰	